



平成22年4月26日

各 位

上場会社名 大陽日酸株式会社  
 代表者 代表取締役社長 松枝寛祐  
 (コード番号 4091)  
 問合せ先責任者 広報部長 石川紀一  
 (TEL 03-5788-8015)

## 業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成21年5月14日に公表した平成22年3月期(平成21年4月1日～平成22年3月31日)の業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

### ● 業績予想の修正について

平成22年3月期通期連結業績予想数値の修正(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	450,000	27,400	24,600	13,300	33.26
今回発表予想(B)	433,000	27,500	27,000	15,700	39.27
増減額(B-A)	△17,000	100	2,400	2,400	
増減率(%)	△3.8	0.4	9.8	18.0	
(ご参考)前期実績 (平成21年3月期)	495,746	29,164	27,948	16,533	41.21

平成22年3月期通期個別業績予想数値の修正(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	225,000	9,800	11,400	7,600	19.00
今回発表予想(B)	225,000	14,300	15,900	10,600	26.50
増減額(B-A)	0	4,500	4,500	3,000	
増減率(%)	0.0	45.9	39.5	39.5	
(ご参考)前期実績 (平成21年3月期)	267,047	14,165	14,672	8,274	20.62

#### 修正の理由

個別業績では、エレクトロニクス産業向けの関連工事などで売上高が当初予想を下回ったものの、特殊ガスの出荷が好調に推移しました。また、プラントの大型工事などで原価率が当初予想より改善しました。その結果、売上高は当初予想並みとなるものの、個別の営業利益・経常利益・当期純利益は当初予想を上回る見込みです。個別業績が好調に推移する一方、米国における景気回復の遅れなどで米国子会社の業績が当初予想を下回る見込みです。また、国内でも、設備投資需要の減退から溶接溶断関連などで収益の回復が遅れています。その結果、連結の営業利益は当初予想を若干上回る程度の見込みです。また、営業外損益では当初予想に比べ持分法投資利益の増加や支払利息の減少があり、特別損益では子会社株式売却益などを特別利益に計上する結果、経常利益、当期純利益ともに当初予想を上回る見込みです。

(注)上記業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、今後の様々な要因によっては、実際の業績が記載の予想数値と異なる可能性があります。

以 上